

# 神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>

神奈川県衛生研究所

## 第 162 号

(2006年 5月)

平成 18年8月10日発行

表1 病原体検出状況(保健所等別)―平成18年5月

発生保健所	食中毒および感染症発生に伴う行政検査													病原体定点 ※1				菌株精査	合計	
	平塚保健所	鎌倉保健所	小田原保健所	茅ヶ崎保健所	三崎保健所	秦野保健所	厚木保健所	大和保健所	足柄上保健所	津久井保健所	藤沢市保健所	相模原市保健所	横須賀市保健所	※3 県域外からの依頼	小計	小児科	眼科			基幹
細菌	腸管出血性大腸菌(EHEC)		3	2									1		6					6
	その他の大腸菌 ※2															2				2
	カンピロバクター ジェジュニー										1				1					1
	A群溶血レンサ球菌															6				6
	黄色ブドウ球菌												1		1					1
	小計		3	2							1		2		8	8				16
ウイルス	インフルエンザ B															2				2
	コクサッキー A 4															4				4
	コクサッキー A 16															1				1
	ムンブス															1				1
	アデノ 3															3				3
	単純ヘルペス 1															1				1
	ノロ							3							3	1				4
	サポ															1				1
小計							3							3	14				17	
計		3	2				3			1		2		11	22				33	

※1:病原体定点の検出数は藤沢市、相模原市、横須賀市も含めた定点の合計を計上した。

※2:EHEC/VTEC・ETEC・EIEC以外の大腸菌

※3:関連調査

### 検出概要

- 5月の病原体検出数は合計 33 件、細菌 16 件、ウイルス 17 件であった。
- 食中毒および感染症発生に伴う行政検査では細菌 8 件、ウイルス 3 件が検出されている。  
また、病原体定点からの検査では、細菌 8 件、ウイルス 14 件が検出されている。

### 検出状況

- 腸管出血性大腸菌は、5月には6件検出された。  
そのうち2件は小田原保健所管内の腸管出血性大腸菌患者発生届に伴った関係者2名から O26 : H11 (VT1 保有) が検出され、他の3件は鎌倉保健所管内の患者の経過観察の検査から O28ac:HNT (VT2 保有) が3回 (3件) 検出された。また、横須賀市保健所管内の医療機関の散発下痢症患者から O157:H7 (VT1、VT2 保有) が1件検出された。
- 厚木保健所管内で感染性胃腸炎の集団発生に伴いノロウイルスが3件検出された。

- 横須賀市では、神戸で発生した食中毒の関連調査から黄色ブドウ球菌が検出され、また、藤沢市では、有症苦情事例からカンピロバクタージェジュニーが1件検出された。

表2 病原体検出情報（疾患別）－平成18年5月

疾患名		感腸	つ	R	咽	感	手	ヘル	を	麻	流	イ	急	無	成	A	淋	百	そ	有	食	合	
検出病原体		腸管出血性大腸菌	つが虫病	Sウイルス感染症	頭結膜熱	染性胃腸炎	足口病	パンギーナ	麻しん(成人麻しん)	除(成人麻しん)	行性耳下腺炎	ンフルエンザ様	性出血性結膜炎	菌性髄膜炎	人ましん	群溶レン菌咽頭炎	菌感染症	日咳	の他	症苦情	中毒	計	
細菌	検査検体数	6				11										6			1	1	1	26	
	腸管出血性大腸菌	6																				6	
	その他の大腸菌 ※					2																2	
	カンピロバクター ジェジュニー																				1	1	
	A群溶血レンサ球菌															6						6	
	黄色ブドウ球菌																					1	
	小計	6				2										6				1	1	16	
ウイルス	検査検体数				4	8	2	6			1	2	1							1		7	32
	インフルエンザB											2											2
	コクサッキー A4							4															4
	コクサッキー A16						1																1
	ムンプス										1												1
	アデノ 3				3																		3
	単純ヘルペス 1																			1			1
	ノロ					4																	4
	サポ					1																	1
小計				3	5	1	4			1	2								1			17	
計	6			3	7	1	4			1	2					6			1		1	33	

4月より横須賀市、相模原市、藤沢市の検体が含まれています

※:EHEC/VTEC・ETEC・EIEC以外の大腸菌

### 検出概要

- 5月は、食中毒および感染症の集団発生事例が2事例あった。そのうち1事例（感染性胃腸炎）からノロウイルスが3件検出された。

### 検出状況

- A群溶血レンサ球菌が咽頭炎患者から6件検出された。その血清型はT1（1件）、T3（2件）、T13（1件）、T25（1件）およびTB3264（1件）であった。
- 5月に採取された検体からインフルエンザウイルスB型が2件検出されている。2005/06インフルエンザシーズンは、インフルエンザAH3型およびAH1型の流行であったので、B型の流行であった前シーズン以来の検出である。
- 咽頭結膜熱の患者報告数の増加に伴い、主な病原体であるアデノ3型が咽頭結膜熱患者4件のうち3件(75%)から検出された。
- 感染性胃腸炎の集団発生事例から検出されたノロウイルスの遺伝子群はいずれもGIIであった。

表3 病原菌検出状況(月別) - 平成18年5月

菌種・型別	月														平成18年累計
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成17年計	1月	2月	3月	4月	5月	
腸管出血性大腸菌(EHEC)	2	1	6	4	5				18	1		3	4	6	14
毒素原性大腸菌(ETEC)					3				3						
その他の大腸菌※※	13		2	2	1		1		21	4	3	1	3	2	13
パラチフス A菌															
サルモネラ O4群															
サルモネラ O7群					5				5		4				4
サルモネラ O8群												1			1
サルモネラ O9群	1			1		1	2		5			1			1
O1&O139以外のコレラ菌															
腸炎ビブリオ				24	7				31						
エロモナス キャピエ				1					1						
カンピロバクター ジェジュニー	2	8	15	8	5	5	6		49			7	3	1	11
カンピロバクター コリー															
黄色ブドウ球菌					1		3		4					1	1
ウエルシュ菌		8							60				80		80
セレウス菌	1								1						
赤痢菌 D群															
A群溶血レンサ球菌	4						1	1	9	4	4	5	3	6	22
マイコプラズマ ニューモニエ			3			4	1		8		1				1
合計	23	17	26	40	27	10	14	1	215	9	12	18	93	16	148

※ 平成18年4月より横須賀市、相模原市、藤沢市の検体が含まれています  
 ※※:EHEC/VTEC・ETEC・EIEC以外の大腸菌

**検出概要**

- ・ 5月は大きな集団事例がなかったため病原菌の検出は大幅に減少した。
- ・ 腸管出血性大腸菌は5月は6件検出され、その血清型は O26:H11(VT1 保有)、O28ac:HNT(VT2 保有)、O157:H7(VT1, VT2)となっている。
- ・ A群溶血レンサ球菌は、本年は患者報告数が昨年に比して多いが、2～3月、5～6月のピークに沿った形で、5月も検出数が多くなっている。

表4 ウイルス検出状況（月別） ー平成18年5月

疾患名 検出ウイルス	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成17年計	1月	2月	3月	4月	5月	平成18年累計
インフルエンザ AH1								6	6	19	19	6			44
インフルエンザ AH3								3	77	136	35	1			172
インフルエンザ B									105					2	2
パラインフルエンザ 1										1	1				2
R S							1		1		1				1
ポリオ 3	1								1						
コクサッキー A2									1						
コクサッキー A4			1						1					4	4
コクサッキー A5				1					1						
コクサッキー A6	2	9	12						23						
コクサッキー A9							1		1						
コクサッキー A10		1					1	1	3						
コクサッキー A12			1						1						
コクサッキー A14		1		1					2						
コクサッキー A16		4	4	2	4		1	1	17					1	1
コクサッキー B3			1						1						
エコー 3		2	1						3						
エコー 6		2							2						
エンテロ 71	1		5	5			1	1	13						
パレコー 1							1		1						
ライノ					1				1						
ムンプス	5	10	2			2	1	1	21		1		2	1	4
アデノ 1												1			1
アデノ 2	1	1	1						4		1				1
アデノ 3		1		1		1	1	1	8		2	2	4	3	11
アデノ 4									1		1				1
アデノ 5	1								1						
アデノ 40/41							2		2						
アデノ (型未決定)													1		1
単純ヘルペス 1		1				2			4	1			1	1	3
ロ タ	12							1	27	1		22	8		31
ノ ロ	17	7				1	21	44	237	80	13	13	36	4	146
サ ボ	31								31					1	1
柯エンテア ヲツガムシ						1	12		13						
合計	71	39	28	10	5	10	40	59	610	238	74	45	52	17	426

**検出概要**

- ヘルパンギーナの患者報告数が20週（5/15～5/21）から増加し始めたことを反映し、本年はじめてコクサッキーA4が5月に検出された。
- ノロウイルスによる集団発生事例が減少したことに伴いウイルスの検出数は大幅に減少した。
- サボウイルスの5月の検出は病原体定点から1件であったが、昨年同期には集団発生事例（31件検出）があったので、注意を要する。